科目ナンバリング	U-LAS70 10001 SJ50						
授業科目名<英訳>	ILASセミナー：異文化間教育入門 ILAS Seminar :An Introduction to Intercultural education			担当者所属職名・氏名	人間・環境学研究科 教授　西山　教行		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・前期	受講定員(1回生定員)	15 (10) 人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	月5	教室	吉田南総合館216演習室			使用言語	日本語
キーワード	言語教育 / 異文化間コミュニケーション / 外国語教育 / 日本語教育						

（総合人間学部の学生は，全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。）

[授業の概要・目的]

この授業は、多文化共生社会における日本語教育と国際社会の中で異文化間教育の考え方を参照し、異文化間教育のあり方を考察する。異文化理解や異文化という言葉はしばしば耳にするが、異文化間教育とはなんだろうか。また日本の中での異文化間と日本語教育はどのような関係にあるのだろうか。このような疑問をともに考えたい。

[到達目標]

異文化間教育の課題を把握し、各国がそれぞれどのような課題を解決するために言語教育を進めているのか検討する。

[授業計画と内容]

受講者による教科書の発表と討論を中心に行い，以下の項目を学習する。
前半『やさしい日本語――多文化共生社会へ』（第2回から8回）
第1章　移民と日本
第2章　〈やさしい日本語〉の誕生
第3章　〈やさしい日本語〉の形
第4章　外国にルーツを持つ子どもたちと〈やさしい日本語〉
第5章　障害をもつ人と〈やさしい日本語〉
第6章　日本語母語話者と〈やさしい日本語〉
第7章　多文化共生社会に必要なこと
後半『異文化間教育』（第9回から第15回）は受講生による発表,
第1部第1章　文化の諸相
第2章　多文化主義への疑問
第3章　異文化間主義の捉え方
第2部第1章　教育学における多元主義の傷跡
第2章　一連の異文化間性
結論　多様性を目指す人文主義に向けて

授業はフィードバックを含め全15回とする。

[履修要件]

特になし

ILASセミナー：異文化間教育入門(2)へ続く↓↓↓

ILASセミナー ：異文化間教育入門(2)

[成績評価の方法・観点]

授業での発表(50%)並びにレポート(50%)による。

[教科書]

庵　功雄 『やさしい日本語――多文化共生社会へ』（岩波新書）
マルティンヌ・プレッチェル 『異文化間教育』（白水社（文庫クセジュ））

（関連ＵＲＬ）

https://noriyukinishiyama.com(西山教行研究室)

[授業外学修（予習・復習）等]

教科書を予習する。パワーポイントを利用した個別発表おこないますので、準備が必要です。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]